『ユニオンファンド』

商品分類(追加型投信/内外/株式)

交付運用報告書

第 12 期 (決算日 2020 年 9 月 30 日) 作成対象期間: 2019 年 10 月 1 日~2020 年 9 月 30 日

受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上 げます。

このたび「ユニオンファンド」は、第12期 決算を迎えることができました。ここに期中 の運用状況等についてご報告申し上げます。

当期は新型コロナウイルスの世界規模での 感染拡大により、リーマンショック後最大級 と言われる経済危機が発生し、現在も世界が その克服に取り組んでいるところです。

当ファンドは、2008年のリーマンショックの荒波の中で運用がスタートし、以来、信じてお金を託していただいているお客様と、成長を続ける世界の企業と共に、大きな危機をいくつも乗り越え今日に至っています。

「よりよい社会にしたい」という人間の強い願いと行動によって、今回もこれまで同様に危機を克服し、成長し続けていくものと確信しています。

皆様からお預かりした大切なご資金は、選び抜いたファンドを通じて世界中の選び抜かれた企業に投資しています。今後も皆様の資産形成のお役に立てるよう邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

あなたと大切な方の未来のために

ユニオン投信 Union Asset Management

〒390-0815 長野県松本市深志一丁目 1番 21号 中田歯科ビル 5F

| | | 箩 | 有12 | 期末 | (2020年9月30日) |
|---|------|-----|------|-----|------------------|
| 基 | 準 | į , | 価 | 額 | 24, 307円 |
| 純 | 資 | 産 | 総 | 額 | 7,654百万円 |
| 第 | 第12基 | 蚏(| 2019 | 9年1 | 0月1日~2020年9月30日) |
| 騰 | | 落 | | 率 | 4.9% |
| 分 | 配 | 金 | 合 | 計 | 0円 |

※基準価額は、1万口当たりで表示しています。 ※純資産総額は、単位未満切捨てで表示しています。 ※騰落率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

- ◎ 交付運用報告書は、運用報告書(全体版)に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。
- ◎ 当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、下記のホームページの「運用状況」から閲覧およびダウンロードすることができます。
- ◎ 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を請求される方は、下記お問い合わせ生までお問い合わせください。

本書の記載内容等に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社 業務管理部

電話番号:0263-38-0725

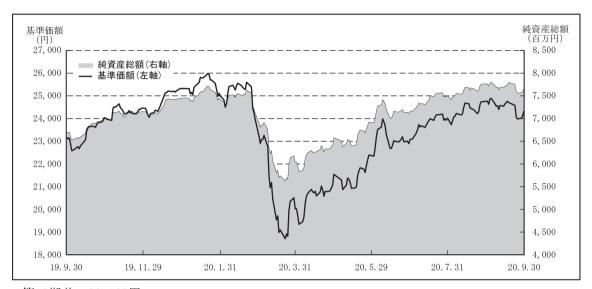
受付時間:午前9時~午後5時

(土日祝日、年末年始を除きます。)

ホームページ: http://www.unionam.co.jp/

運用経過

■基準価額等の推移(2019年9月30日~2020年9月30日)



第12期首:23,163円 第12期末:24,307円 (既払分配金:0円) 騰落率:4.9%

- (注1) 当ファンドは、主に国内外の株式に投資する投資信託証券に分散投資していますが、比較できる適切な指数が存在 しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。
- (注2) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。基準価額がファンド運用の実質的なパフォーマンスを示しています。
- (注3) ファンドの購入価額により課税条件が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4)騰落率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

■基準価額の主な変動要因 (第12期:2019年10月1日~2020年9月30日)

当期の世界の株価は、期首から上昇基調となりましたが、2020年になると新型コロナウイルスの 感染が拡大し、株価は2月後半から3月下旬にかけて急落しました。ただ、その後は各国の金融財 政政策の発動を受けて回復基調となり、期末に若干調整したものの、期首との比較では総じて上昇 して終わりました。為替市場では、ドルが軟調で円に対して若干値下がりした一方、ユーロは対円 でも値上がりする堅調な推移となりました。新興国通貨は対ドル、対円ともに値下がりしました。 以上から、円換算で見た世界の株価は上昇しました。

当期のユニオンファンドは期首に比べ4.9%値上がりしました。組入ファンド6本のうち5本が値上がりしたことが寄与しました。特にコムジェストEUFは16.2%と大きく値上がりしました。欧州株は円換算で若干下落しましたが、銘柄選択が奏功したものです。また、スパークスFも15.2%値上がりし、日本株の上昇率を上回りました。一方、ハリスFは3.5%の値下がりで終わりました。その他のファンドにつきましては、ほぼ市場並みのパフォーマンスでした。

ユニオンファンドの組入状況に関連しましては、組入比率が最も高いコムジェストEMFの値上がりが3.0%にとどまったほか、組入第2位のハリスFが値下がりしたことがマイナス要因となりました。

- (注) 当交付運用報告書では、組入ファンドの名称を以下のとおり省略して記載することがあります。
 - 「さわかみファンド」: さわかみF
 - ・「スパークス・集中投資・日本株ファンドS⟨適格機関投資家限定⟩」:スパークスF
 - ・「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ|:キャピタルF
 - ・「ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)」:ハリスF
 - ・「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)」:コムジェストEUF
 - ・「コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド95(適格機関投資家限定)」:コムジェストEMF

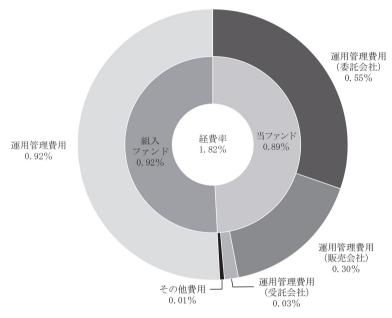
■ 1万口当たりの費用明細 (第12期:2019年10月1日~2020年9月30日)

| 項目 | 当 | 期 | 項目の概要 | |
|-------------|-------------|---------|-----------------------------------|--|
| - 快日 | 金額(円) 比率(%) | | 境日の概要 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 207 | 0.880 | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 | |
| (委託会社) | (129) | (0.550) | 委託した資金の運用の対価 | |
| (販売会社) | (70) | (0.297) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入 | |
| | | | 後の情報提供等の対価 | |
| (受託会社) | (8) | (0.033) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 | |
| (b) その他費用 | 3 | 0.013 | (b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数(各月末 | |
| | | | の残存受益権口数の単純平均) | |
| (そ の 他) | (3) | (0.013) | 金銭信託にかかる手数料等 | |
| 合計 | 210 | 0.893 | | |
| 期中の平均基準値 | 西額は、23,518円 | りです。 | | |

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入ファンドの概要」に表示しています。
- (注3) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額(各月末の基準価額の単純平均)で除して 100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

【参考情報】経費率(組入ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

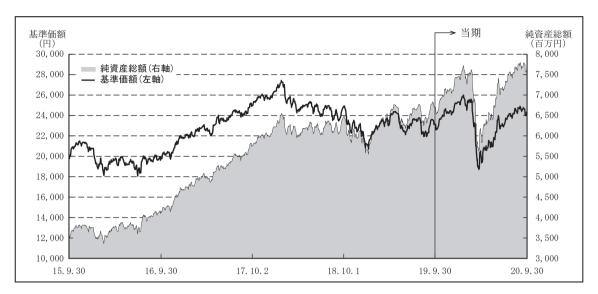
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.82%です。



| 経費率 (①+②) | 1.82% |
|-------------------|--------|
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.89% |
| ②組入ファンドの運用管理費用の比率 | 0. 92% |

- (注1) ①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。また、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税ならびに当ファンドが組み入れている投資信託証券(組入ファンド)が支払った費用を含みません。
- (注2) ②の費用は、期中の各月末の各組入ファンドの組入比率に、当該組入ファンドの信託報酬率(信託報酬率が変動する場合はその上限の率)を乗じたものの単純平均です。
- (注3)率および比率は、年率換算した値で、小数第3位四捨五入で表示しています。
- (注4) 当参考情報は、注1から注3までの前提条件をもとに算出したものであるため、あくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。また、組入ファンドには、運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、 当参考情報には含まれていません。

■最近5年間の基準価額等の推移(2015年9月30日~2020年9月30日)



| | | 2015年9月30日 決算日 | 2016年9月30日 決算日 | 2017年10月2日 決算日 | 2018年10月1日 決算日 | 2019年9月30日 決算日 | 2020年9月30日 決算日 |
|---------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 | (円) | 19, 779 | 19, 893 | 24, 971 | 24, 929 | 23, 163 | 24, 307 |
| 期間分配金合計 | (税込み)(円) | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基準価額騰落率 | (%) | _ | 0.6 | 25. 5 | △0.2 | △7. 1 | 4.9 |
| 純資産総額 | (百万円) | 3, 492 | 4, 151 | 5, 751 | 6, 483 | 6, 704 | 7, 654 |

- (注1) 比較できる適切な指数が存在しないため、ベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。
- (注2) 当ファンドは分配を行っていないため、分配金再投資基準価額を表示していません。
- (注3)騰落率は小数第2位四捨五入で、純資産総額は単位未満切捨てで表示しています。

■投資環境(第12期:2019年10月1日~2020年9月30日)

当期の株価は、2020年に入って世界的に広がった新型コロナウイルスの影響を大きく受け、特に3月には歴史的とも言える急落を演じましたが、その後はおおかたの予想を上回るピッチで回復するという、大きな波乱の展開となりました。

一方、為替市場では、ユーロが対ドルで大きく値上がりしましたが、株価の波乱に比べ全体として変動が小さく、特にドル円は3月を除けばごく緩やかな円高基調でした。

以下、株式市場、為替市場のそれぞれについて推移をご説明します。

【株式市場の動き】

期首の世界経済は、2018年以降の米中間の関税引き上げ合戦による貿易の低迷を受け、停滞気味でした。しかし、関税引き下げに向けた交渉への期待が広がったことに加え、景気減速を受けて米国連邦準備制度理事会(FRB)や欧州中央銀行(ECB)が9月に開始した利下げをさらに進め、市場への資金供給を拡大するなど金融緩和姿勢を明確に示しました。これらが好感されて、世界の株価は上昇ピッチを速めました。

ただ、2020年に入ると、中国で発生した新型コロナウイルスによる感染症が世界各国に広がり始めたため、感染拡大の防止策として渡航制限や都市封鎖を始めとする社会経済活動の大幅な規制が実施されました。これが景気を一気に、かつ大幅に悪化させるところとなり、企業業績への悪影響も甚大なものとなりました。リスクを避けるため市場から資金を引き揚げる動きが加速した結果、通常ならこうした危機に際して買われることの多い国債や金までもが現金確保のために売り叩かれるなど、株式のみならず市場は全面的に大混乱に陥りました。株価の下落ピッチは極めて急速で、世界の多くの市場で約1ヵ月程度の間に株価下落率は3割程度にも達しました。

深刻な事態に対応し景気を下支えするために、3月から欧米を始め世界中で大規模な金融緩和が 行われました。財政面でも、急増する失業者の救済などを目的に相当な額の景気対策が打たれるこ ととなり、3月下旬に株価の下落は止まりました。

その後は、感染の起点となった中国だけでなく、多くの先進国で感染の拡大ピッチが鈍化したことから、株価は回復しました。こうしたなか、IT関連の巨大企業は、ウイルス感染を回避するための外出控えがかえって追い風ともなり、業績は拡大して株価も非常に強い状況が続きました。逆に、運輸、旅行、サービスなどの業種を中心に、景気に敏感な企業は株価が大きく下がり、その後の回復も限定的となるなど、業種による二極化が進みました。

市場別には、IT関連の巨大企業を多数擁する米国株は好調でしたが、欧州株はウイルス感染が拡大した当初に都市封鎖を強化した影響などから景気回復が緩やかなものにとどまり、株価は下落しました。新興国株は、世界経済の大幅な悪化と株式投資を手控える動きに影響されましたが、先行きの回復期待から株価は上昇しました。

【為替市場の動き】

当期の為替市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月に混乱したことを除けば穏やかに 推移しました。

米国では長短金利が大きく低下し、低金利の長期化が予想されたことから、金利差の縮小を主因にドルは多くの主要通貨に対して下落しました。一方、ユーロは、財政による景気テコ入れ策が好感されたほか、前期末まで値下がりが続いていた反動もあって、対ドルで大きく値上がりし、対円でも上昇しました。新興国通貨は、世界の景気後退によるリスクを避けるため積極的な投資が進まなかったことから、対ドルでも若干値下がりする軟調な推移に終わりました。

■当ファンドの運用経過と結果

当ファンドは、世界の株価の長期的な成長を通じて基準価額の上昇を目指しています。

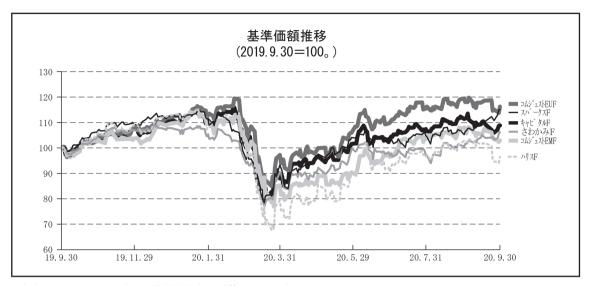
当期は、期首から金融緩和を受けて総じて株価は堅調に推移しましたが、景気や企業業績の先行きが芳しくなかったことから買い増しを見送りました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大で株価が急落したため、3月に約半年ぶりとなる買い増しを行い、その後も5月まで買い増しを続行しました。買い増しを行ったのはハリスF、キャピタルF、スパークスF、コムジェストEUFです。

一方、新興国株につきましては、中長期的な経済成長と企業業績の拡大にともなって株価も上昇していくとの考え方に基づき、相対的に高めのウェイトで投資を継続してきました。ただ、世界経済の低成長が長引く可能性が高まり、新興国企業の業績も期待ほど高まらない状況が予想されたため、組入比率を若干引き下げることとし、5月から7月にかけてコムジェストEMFの部分売却を行いました。

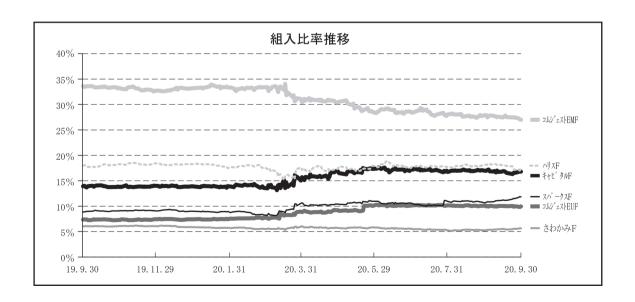
以上の結果、全体の組入比率は期首の87.9%に対し、3月には一時84.4%まで低下しましたが、買い増しと組入ファンドの値上がりにより6月には91.5%まで高まりました。その後は買い増しを見送り、期末は88.6%でした。期末のファンド別組入比率は、コムジェストEMF27.0%、ハリスF17.3%、キャピタルF16.8%、スパークスF11.8%、コムジェストEUF10.0%、さわかみF5.7%としています。



【参考情報】当期中の組入ファンドの状況



(注) ハリスFは分配金再投資基準価額で計算しています。



■ベンチマーク

当ファンドは、比較できる適切な指数が存在しないため、運用の目標とするベンチマークを設けておらず、参考指数もありません。

■分配金

基準価額の水準、投資環境、運用の安定等を考慮し、当期は分配を行わないこととしました。 なお、収益分配に充てなかった利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (第12期:2019年10月1日~2020年9月30日)

(1万口当たり、税込み)

| | 項目 | 当期 | | |
|-----|---------|-----|--------------|--|
| 当期 | 分配金 | (円) | - | |
| (対 | 基準価額比率) | (%) | _ | |
| | 当期の収益 | (円) | _ | |
| | 当期の収益以外 | (円) | _ | |
| 翌期網 | 繰越分配対象額 | (円) | 14, 493 | |

- (注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2)金額は、項目ごとに円未満切捨てで表示しています。そのため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配 金と一致しないことがあります。

今後の運用方針

当面の注目点は、第1に新型コロナウイルスの感染状況、第2に米国大統領選挙のゆくえと新政権の経済政策だろうと思われます。このほか、米中の対立については、関税交渉で歩み寄りが見えたものの、安全保障や人権問題などでは隔たりが大きく、今後もことあるごとに撹乱要因となりそうです。

長期の観点で最も重要なのは、やはり新型コロナウイルスで傷ついた世界経済がどのように修復していくかという点だと見ています。感染が広がった当初は悲観論一色でしたが、景気はその後概ね順調な回復過程をたどってきました。それが続くかどうかです。現時点では、コロナ感染に世界が徐々に慣れていくだろうと考えています。また、ここ1年間の金融緩和の効果は非常に大きく、景気と株価を下支えするものと予想しています。

当ファンドが組み入れているファンドは、経済成長率を上回る業績の拡大が期待できる企業や、株価が大幅に割安と見られる企業に投資しています。景気回復が今後一層明らかになるにつれて、より高い運用成果をあげる可能性が増していると考えており、投資環境には十分留意しつつ、前向きに投資を進めていく方針です。

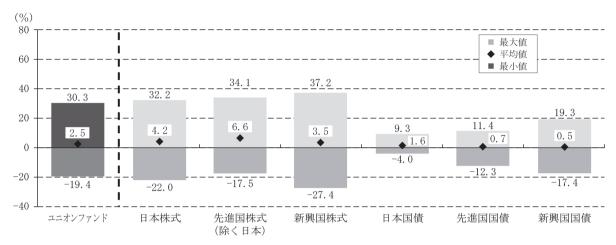
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

| 商 | 品 | 分 | 類 | 追加型投信/內外/株式 |
|---|-----|-----|---|---|
| 信 | 託 | 期 | 間 | 無期限 (信託約款所定の信託終了事由が生じた場合に償還されることがあります。) |
| 運 | 用 | 方 | 針 | 個人家計の「資産形成」を支援する目的で、「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資をします。 |
| 主 | 要 投 | 資 対 | 象 | 主として国内外の有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運 | 用 | 方 | 法 | ①「株式」に投資します。②「グローバル」な視点で投資します。③運用は「ファンド・オブ・ファンズ」形式で行います。④実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。⑤株価が割高と思われるときには、現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます。 |
| 組 | 入 | 制 | 限 | ①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。 ⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。 |
| 分 | 配 | 方 | 針 | 毎決算時、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、投資環境や市況動向等を勘案し決定します(分配を行わないことがあります。)。 当ファンドは分配金再投資専用であるため、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 |

【参考情報】当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- 2015年10月~2020年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、 当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。 (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 各資産クラスの指数

日本株式: TOPIX配当込み指数

先進国株式 : MSCI Kokusai (World ex Japan) Index 新興国株式 : MSCI EM (Emerging Markets) Index

日本国債 : NOMURA-BPI国債

先進国国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし円ベース) 新興国国債 : THE GBI EM Global Diversified Composite unhedged IPY index

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※ 他の代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しています。 株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。

また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

THE GBI EM Global Diversified Composite unhedged JPY indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。 NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

当ファンドのデータ

■組入資産の内容 (第12期末:2020年9月30日現在)

○ 組入ファンド

| ファンド名 | 組入比率(%) |
|--------------------------------------|---------|
| コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド 95 | 27. 0 |
| ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007 | 17. 3 |
| キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ | 16.8 |
| スパークス・集中投資・日本株ファンドS | 11.8 |
| コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90 | 10.0 |
| さわかみファンド | 5. 7 |

- (注1) 比率は、当ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) 各組入ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。
- (注3) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。
- (注4) 国別配分は、組入資産の発行国を表示しています。

■純資産等(第12期末:2020年9月30日現在)

| 項目 | 第12期末 |
|------------|--------------------|
| 純資産総額 | 7, 654, 272, 179円 |
| 受益権総口数 | 3, 148, 971, 687 □ |
| 1万口当たり基準価額 | 24, 307円 |

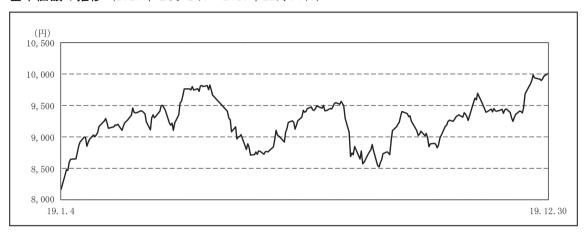
※ 第12期中における追加設定元本額は471,675,106円、一部解約元本額は216,982,908円です。

■組入ファンドの概要

※ 各組入ファンドの概要は、当交付運用報告書作成時点において入手可能な直近計算期間に関する情報です。

1 《コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド95 (適格機関投資家限定)》

基準価額の推移(2019年1月4日~2019年12月30日)



1万口当たりの費用明細(2019年1月5日~2019年12月30日)

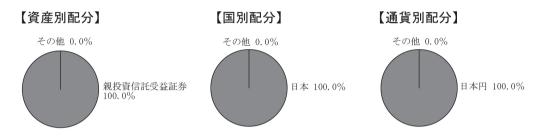
| 項目 | 金額(円) | 比率 (%) | 項目の概要 |
|-------------|-----------|----------|---|
| (a) 信 託 報 酬 | 95 | 1.031 | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (委託会社) | (60) | (0.651) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (30) | (0. 325) | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (5) | (0.054) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 3 | 0. 037 | (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料:期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (3) | (0.037) | |
| (c) 有価証券取引税 | 3 | 0. 036 | (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税:期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (3) | (0.036) | |
| (d) その他費用 | 15 | 0. 159 | (d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (13) | (0. 136) | 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (2) | (0.020) | 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.003) | グローバルな取引主体識別子(LEI: Legal Entity Identifier)登録費用、金銭信託手数料、外国株式に関する各種手数料等(ADR手数料や税務代理人費用等)、インド株式におけるキャピタルゲイン課税、信託事務の処理に要するその他の諸経費等 |
| 合計 | 116 | 1. 263 | |
| 期中の平均基準価額 | 頁は、9,218円 | です。 | |

- (注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。
- (注4) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容(2019年12月30日現在)

○ 組入銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 玉 | 通貨 | 組入比率(%) |
|---|---------------|------------------------------------|----|-----|---------|
| 1 | 親投資信託 受 益 証 券 | ニッポンコムジェスト・エマージングマー ケッツ マザーファンド | 日本 | 日本円 | 100.0 |
| | | 組入銘柄数 | | | 1 銘柄 |



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。 (注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容(2019年12月25日現在)

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケッツ マザーファンド

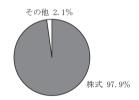
〇 組入上位10銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | MSCI業種分類 | 玉 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|--|----------------|-------|----------|----------|
| 1 | 株式 | PING AN INSURANCE GROUP CO-H | 金融 | 中国 | 香港ドル | 6.8 |
| 2 | 株式 | BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA | 金融 | ブラジル | ブラジルレアル | 4.4 |
| 3 | 株式 | NETEASE INC ADR | コミュニケーション・サービス | 中国 | 米ドル | 4. 3 |
| 4 | 株式 | SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD. | 情報技術 | 韓国 | 韓国ウォン | 4. 3 |
| 5 | 株式 | TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR | 情報技術 | 台湾 | 米ドル | 4. 3 |
| 6 | 株式 | SANLAM LTD | 金融 | 南アフリカ | 南アフリカランド | 3.6 |
| 7 | 株式 | COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD | 情報技術 | アメリカ | 米ドル | 3. 4 |
| 8 | 株式 | AIA GROUP LTD | 金融 | 香港 | 香港ドル | 3. 2 |
| 9 | 株式 | INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO. | 生活必需品 | 中国 | 中国元 | 3. 2 |
| 10 | 株式 | FOMENTO ECONOMICO MEXICANO | 生活必需品 | メキシコ | メキシコペソ | 3. 2 |
| | | 組入銘柄数 | | | | 42銘柄 |

【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】



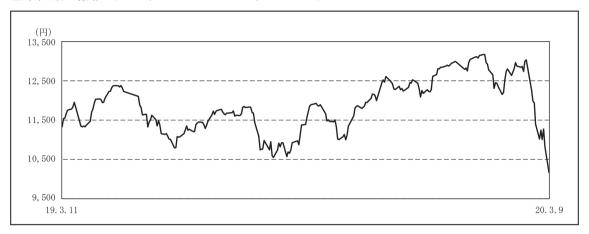




- (注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

2《ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)》

基準価額の推移(2019年3月11日~2020年3月9日)



1万口当たりの費用明細(2019年3月12日~2020年3月9日)

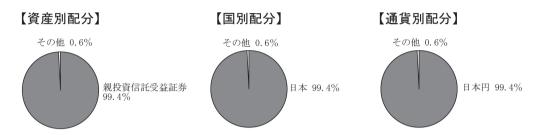
| 項目 | 金額(円) | 比率 (%) | 項目の概要 |
|-------------|------------|----------|---|
| (a) 信 託 報 酬 | 168 | 1. 422 | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (委託会社) | (129) | (1.094) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (28) | (0. 241) | 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対 価 |
| (受託会社) | (10) | (0.088) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 3 | 0. 024 | (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際に支払う手数料 |
| (株式) | (3) | (0.024) | |
| (c) 有価証券取引税 | 2 | 0. 013 | (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税:期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (2) | (0.013) | |
| (d) その他費用 | 8 | 0.069 | (d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (7) | (0.061) | 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (1) | (0.005) | 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.002) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合計 | 181 | 1. 528 | |
| 期中の平均基準価額 | iは、11,793円 | です。 | |

- (注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2)金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものを含みます。
- (注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容(2020年3月9日現在)

○ 組入銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 国 | 通貨 | 組入比率(%) |
|---|---------------|-----------------------------------|----|-----|---------|
| 1 | 親投資信託 受 益 証 券 | ALAMCO ハリス グローバル バリュー 株マザーファンド | 日本 | 日本円 | 99. 4 |
| | | 組入銘柄数 | | | 1銘柄 |



(注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。 (注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容(2020年3月9日現在)

ALAMCO ハリス グローバル バリュー株マザーファンド

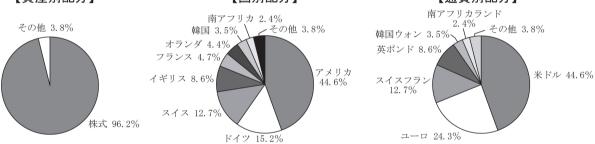
〇 組入上位10銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 業種等 | 玉 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|----------------------------|------------------------|------|--------|----------|
| 1 | 株式 | ALPHABET INC-CL A | メディア・娯楽 | アメリカ | 米ドル | 4.8 |
| 2 | 株式 | DAIMLER AG-REG | 自動車・自動車部品 | ドイツ | ユーロ | 4.8 |
| 3 | 株式 | BNP PARIBAS | 銀行 | フランス | ユーロ | 4. 7 |
| 4 | 株式 | GLENCORE PLC | 素材 | イギリス | 英ポンド | 4. 7 |
| 5 | 株式 | CNH INDUSTRIAL NV | 資本財 | オランダ | ユーロ | 4. 4 |
| 6 | 株式 | CREDIT SUISSE GROUP AG-REG | 各種金融 | スイス | スイスフラン | 4. 4 |
| 7 | 株式 | BAYER AG | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | ドイツ | ユーロ | 3. 7 |
| 8 | 株式 | REGENERON PHARMACEUTICALS | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | アメリカ | 米ドル | 3. 7 |
| 9 | 株式 | ALLIANZ SE | 保険 | ドイツ | ユーロ | 3. 6 |
| 10 | 株式 | HILTON WORLDWIDE HOLDINGS | 消費者サービス | アメリカ | 米ドル | 3. 5 |
| | • | 組入銘柄数 | | | 40銘柄 | |

【資産別配分】

【国別配分】

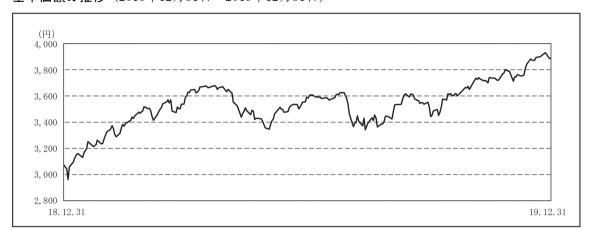
【通貨別配分】



- (注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

3 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX) クラス Z》

基準価額の推移(2018年12月31日~2019年12月31日)



1万口当たりの費用明細(2019年1月1日~2019年12月31日)

情報が取得できないため記載していません。

組入資産の内容(2019年12月31日現在)

※以下の組入資産の各内容は、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)全体のものです。

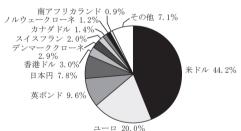
○ 組入上位10銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 業種等 | 国 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|------------------------|----------------|------|---------|----------|
| 1 | 株式 | Enel SpA | 公益事業 | イタリア | ユーロ | 2. 1 |
| 2 | 株式 | | 情報技術 | オランダ | ユーロ、米ドル | 1.9 |
| 3 | 株式 | Alphabet, Inc. | コミュニケーション・サービス | アメリカ | 米ドル | 1. 9 |
| 4 | 株式 | Ocado Group plc | 一般消費財・サービス | イギリス | 英ポンド | 1.7 |
| 5 | 株式 | Microsoft Corp. | 情報技術 | アメリカ | 米ドル | 1. 7 |
| 6 | 株式 | Airbus SE | 資本財・サービス | フランス | ユーロ | 1.6 |
| 7 | 株式 | AIA Group Ltd. | 金融 | 香港 | 香港ドル | 1. 5 |
| 8 | 株式 | Pernod Ricard SA | 生活必需品 | フランス | ユーロ | 1.5 |
| 9 | 株式 | Visa, Inc. | 情報技術 | アメリカ | 米ドル | 1. 5 |
| 10 | 株式 | Seattle Genetics, Inc. | ヘルスケア | アメリカ | 米ドル | 1.4 |
| | | 組入銘柄数 | | | 190銘柄 | |

【資産別配分】 【国別配分】

その他 5.0% その他 18.8% スイス 2.0% ドイツ 2.3% 香港 2.3% イタリア 2.5% デンマーク 2.9% オランダ 3.5% 株式 95.0% 日本 7.8% フランス 9.2% イギリス 9.6%

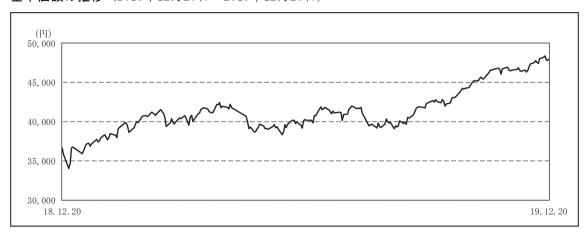
【通貨別配分】



- (注1) 比率は、純資産総額に対する各評価額の割合です。
- (注2) 同一会社の株式は、それぞれまとめて1銘柄として組入比率および組入銘柄数を表示しています。
- (注3) 現金、その他の資産等は、その他に含めて表示しています。

4 《スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉》

基準価額の推移(2018年12月20日~2019年12月20日)



1万口当たりの費用明細(2018年12月21日~2019年12月20日)

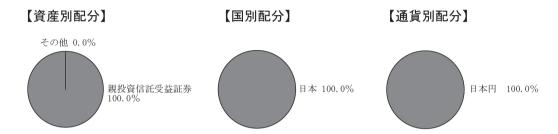
| 項目 | 金額 (円) | 比率 (%) |
|-------------|-----------|--------|
| (a) 信 託 報 酬 | 340 | 0.83 |
| (委託会社) | (301) | (0.73) |
| (販売会社) | (23) | (0.06) |
| (受託会社) | (16) | (0.04) |
| (b) 売買委託手数料 | 25 | 0.06 |
| (c) その他費用 | 2 | 0.01 |
| 合計 | 367 | 0.89 |
| 期中の平均基準価額 | は、41,205円 | です。 |

- (注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) その他費用は、監査費用です。
- (注3)金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注4) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容(2019年12月20日現在)

○ 組入銘柄

| | | 種別 | 銘柄名 | 国 | 通貨 | 組入比率(%) |
|---|---|---------------|--------------------|----|-----|---------|
| | 1 | 親投資信託 受 益 証 券 | スパークス集中投資戦略マザーファンド | 日本 | 日本円 | 100.0 |
| 1 | | | 組入銘柄数 | | | 1 銘柄 |



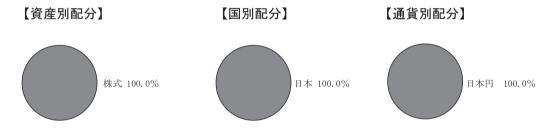
- (注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容(2019年12月20日現在)

スパークス集中投資戦略マザーファンド 組入状況

○ 組入上位10銘柄

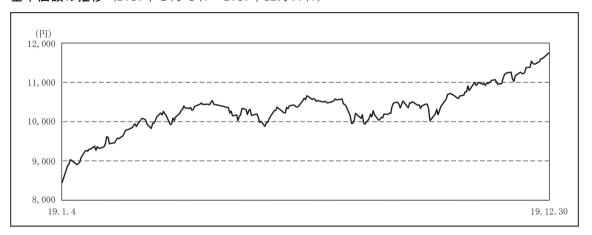
| | 種別 | 銘柄名 | 業種 | 玉 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|------------------|----------|----|------|----------|
| 1 | 株式 | MARUWA | ガラス・土石製品 | 日本 | 日本円 | 8. 5 |
| 2 | 株式 | オルガノ | 機械 | 日本 | 日本円 | 6. 2 |
| 3 | 株式 | トーセイ | 不動産業 | 日本 | 日本円 | 5. 9 |
| 4 | 株式 | クミアイ化学工業 | 化学 | 日本 | 日本円 | 5. 5 |
| 5 | 株式 | TOTO | ガラス・土石製品 | 日本 | 日本円 | 4. 6 |
| 6 | | 三浦工業 | 機械 | 日本 | 日本円 | 4. 3 |
| 7 | 株式 | エフピコ | 化学 | 日本 | 日本円 | 4. 0 |
| 8 | 株式 | シップヘルスケアホールディングス | 卸売業 | 日本 | 日本円 | 3. 9 |
| 9 | 株式 | 全国保証 | その他金融業 | 日本 | 日本円 | 3. 6 |
| 10 | 株式 | ニチハ | ガラス・土石製品 | 日本 | 日本円 | 3. 4 |
| | • | 組入銘柄数 | | | 31銘柄 | |



- (注1)組入上位10銘柄の比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合です。
- (注2) 資産別配分、国別配分および通貨別配分の比率は、当親投資信託の組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額 の割合です。

5 《コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)》

基準価額の推移 (2019年1月4日~2019年12月30日)



1万口当たりの費用明細(2019年1月5日~2019年12月30日)

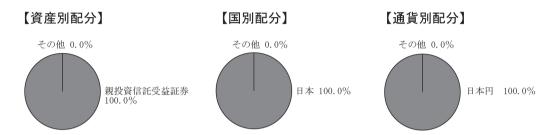
| 項目 | 金額 (円) | 比率 (%) | 項目の概要 |
|-------------|-----------|---------|---|
| (a) 信 託 報 酬 | 101 | 0.976 | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (委託会社) | (64) | (0.618) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (31) | (0.304) | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情 |
| | | | 報提供等の対価 |
| (受託会社) | (6) | (0.054) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 2 | 0.015 | (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| | | | 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (2) | (0.015) | |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.012 | (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税:期中の平均受益権口数 |
| | | | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (1) | (0.012) | |
| (d) その他費用 | 7 | 0.070 | (d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (4) | (0.041) | 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ |
| | | | 資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (3) | (0.029) | 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | グローバルな取引主体識別子(LEI:Legal Entity Identifier)登録費 |
| | | | 用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等 |
| 合計 | 111 | 1.073 | |
| 期中の平均基準価額 | は、10,311円 | です。 | |

- (注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 消費税は、当組入ファンドの期末の税率を採用しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当組入ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当組入ファンドに対応するものです。
- (注4)金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注5) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容(2019年12月30日現在)

○ 組入銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 国 | 通貨 | 組入比率(%) |
|---|---------------|------------------------------|----|-----|---------|
| 1 | 親投資信託 受 益 証 券 | ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザー ファンド | 日本 | 日本円 | 100.0 |
| | | 組入銘柄数 | | | 1 銘柄 |



- (注1) 比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) その他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。

【参考情報】当組入ファンドが投資している親投資信託の組入資産の内容(2019年12月25日現在)

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

○ 組入上位10銘柄

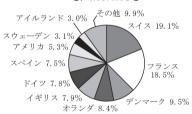
| | 種別 | 銘柄名 | MSCI業種分類 | 玉 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|------------------------------|------------|-------|-----------|----------|
| 1 | 株式 | ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN | ヘルスケア | スイス | スイスフラン | 4. 4 |
| 2 | 株式 | NOVO NORDISK A/S-B | ヘルスケア | デンマーク | デンマーククローネ | 4. 4 |
| 3 | 株式 | ESSILORLUXOTTICA | 一般消費財・サービス | フランス | ユーロ | 4. 4 |
| 4 | 株式 | ASML HOLDING NV | 情報技術 | オランダ | ユーロ | 4. 3 |
| 5 | 株式 | STRAUMANN HOLDING AG-REG | ヘルスケア | スイス | スイスフラン | 4. 1 |
| 6 | 株式 | INDITEX | 一般消費財・サービス | スペイン | ユーロ | 4. 0 |
| 7 | 株式 | AMADEUS IT GROUP SA | 情報技術 | スペイン | ユーロ | 3. 5 |
| 8 | 株式 | HEINEKEN NV | 生活必需品 | オランダ | ユーロ | 3. 4 |
| 9 | 株式 | SAP SE | 情報技術 | ドイツ | ユーロ | 3. 4 |
| 10 | 株式 | DASSAULT SYSTEMES SA | 情報技術 | フランス | ユーロ | 3. 3 |
| | | 組入銘柄数 | | | 42銘柄 | |

【資産別配分】

その他 5.7%

株式 94.3%

【国別配分】



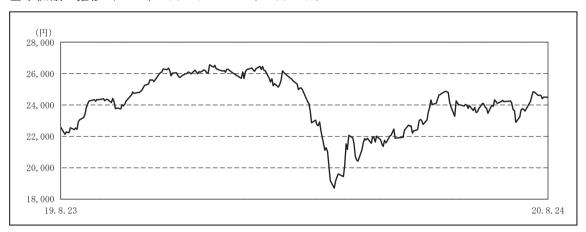
【通貨別配分】



- (注1) 比率は、当親投資信託の純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。
- (注2) 資産別配分のその他は、コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)です。
- (注3) 国別配分のその他は、ユーロ建ての現金、その他の資産等を含めて表示しています。

6《さわかみファンド》

基準価額の推移 (2019年8月23日~2020年8月24日)



1万口当たりの費用明細(2019年8月24日~2020年8月24日)

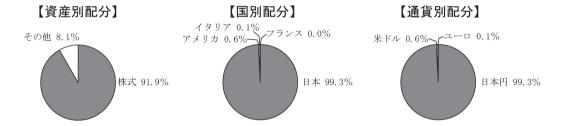
| 項目 | 金額 (円) | 比率 (%) | 項目の概要 |
|-------------|-----------|---------|--|
| (a) 信 託 報 酬 | 265 | 1. 101 | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (委託会社) | (146) | (0.605) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (93) | (0.385) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (26) | (0.110) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.004 | (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料:期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (1) | (0.004) | |
| (c) 有価証券取引税 | 0 | 0.000 | (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (0) | (0.000) | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| 合計 | 266 | 1. 105 | |
| 期中の平均基準価額 | は、24,068円 | です。 | |

- (注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法 により算出した結果です。
- (注2) 金額は、項目ごとに円未満四捨五入で表示しています。
- (注3) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用の金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位四捨五入で表示しています。

組入資産の内容(2020年8月24日現在)

○ 組入上位10銘柄

| | 種別 | 銘柄名 | 業種 | 玉 | 通貨 | 組入比率 (%) |
|----|----|---------|----------|----|-------|----------|
| 1 | 株式 | 日本電産 | 電気機器 | 日本 | 日本円 | 6. 2 |
| 2 | 株式 | ダイキン工業 | 機械 | 日本 | 日本円 | 5. 5 |
| 3 | 株式 | テルモ | 精密機器 | 日本 | 日本円 | 4. 4 |
| 4 | 株式 | 花王 | 化学 | 日本 | 日本円 | 4. 2 |
| 5 | 株式 | 浜松ホトニクス | 電気機器 | 日本 | 日本円 | 3.8 |
| 6 | 株式 | 信越化学工業 | 化学 | 日本 | 日本円 | 3.8 |
| 7 | 株式 | ブリヂストン | ゴム製品 | 日本 | 日本円 | 3. 4 |
| 8 | 株式 | ТОТО | ガラス・土石製品 | 日本 | 日本円 | 3. 2 |
| 9 | 株式 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 日本 | 日本円 | 2.8 |
| 10 | 株式 | 三浦工業 | 機械 | 日本 | 日本円 | 2. 3 |
| | | 組入銘柄数 | | | 106銘柄 | |



- (注1)組入上位10銘柄および資産別配分の比率は、当組入ファンドの純資産総額に対する各評価額の割合で、小数第2位 四捨五入で表示しています。
- (注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、当組入ファンドの組入有価証券の評価額の合計に対する各評価額の割合です。
- (注3) その他は、現金・預金・その他の資産(負債控除後)です。

【参考情報】直接販売の状況

当期は新型コロナウイルスの感染拡大によりセミナー等の活動が満足に行えなかった時期がありましたが、新規口座開設数は162件(前期比 \triangle 35件)、口座閉鎖数は68件(前期比+26件)となり、当期末(2020年9月30日)の全口座数は3,569件と前期末比で94件の純増(+2.7%)となりました。当期中に閉鎖された口座の割合は1.9%(前期比+0.7ポイント)にとどまっており、閉鎖されずに継続している割合(継続率)を見ますと、ファンド設定から当期末までに開設いただいた全ての口座で89.6%、このうち第1期(\sim 2009年9月30日)に開設いただいた口座でも86.4%に達しており、長期でのご利用が多数を占める状況が続いています(次ページのグラフ参照)。

また、「定期定額購入サービス」のご利用は全体の74.2%にあたる2,649件(前期末比+20件)と引き続き高い水準を保っています。

このように長期で定期定額購入サービスを利用される比率が極めて高いことが、弊社の特徴であり、強みでもあります。

今期のユニオンファンドの基準価額は、新型コロナウイルス感染の影響を受けて乱高下しました。しかし、このような状況においても定期定額による購入額は安定的に推移し、月平均で7,012万円(前期比+5.6%)と前期を上回りました。この堅調な資金に加え、セミナー等でお伝えしている「下がったら安くたくさん買える」を実践される多くのお客様により、基準価額が最も下がっていた3~5月に合計1.3億円を超えるスポット購入が入り、当期の資金流入(買付)額は10億8,631万円と前期を15.5%も上回りました。資金流出(解約)も、期初と期末の基準価額上昇時期に大口の解約が増えたことで5億1,021万円(前期比+89.3%)と大幅に増加しましたが、トータルでは5億7,610万円(前期比 Δ 14.1%)も流入が上回っています。月次ベースでみましても、全ての月で流入額が上回り、2014年1月以降81ヵ月連続で純流入が継続しています。

ユニオンファンドの純資産総額も基準価額の大きな上下動に伴い増減しましたが、年間を通してみれば継続的な資金純流入によって成長を続けており、基準価額がコロナショック前の水準まで戻り切らない段階で過去最高額を更新(9月4日に77.9億円)しています。当期末の純資産総額も前期末より9.5億円上回る76億5,427万円(+14.2%)となりました。

弊社は、働く仲間とその家族の方々の財産づくりのお手伝いをさせていただくべく設立された資産運用会社です。主にセミナーや個別相談等お客さまと直接接点を持ちながら、「生涯投資」・「グローバル投資」・「つみたて投資」の有効性や魅力、そして「これからの明るい未来のために自らの意志で自らのお金を世の中に活かすこと」の大切さをご説明しています。

この乱高下した1年でもしっかりと定期定額購入が継続され、下げ相場では多くのスポット購入がされていることを見るにつけ、ユニオンファンドが弊社の経営理念や運用哲学にご賛同いただいた多くの皆様により育てられていると実感しました。そして、その結果として皆様それぞれの自分らしい人生を過ごすための生涯資産づくりに活かされていくというWin-Winの関係を築くことができるのであれば、これほど幸せなことはありません。

これからも、ユニオンファンドは皆様の"生涯投資の道"の頼もしいパートナーであるべく、丁寧に丁寧に運用して参る所存です。

(注) 各金額は単位未満切捨てで、比率は小数第2位四捨五入で表示しています。

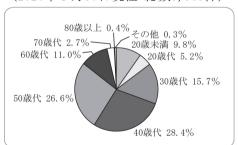
各期末現在の残存口座数および定期定額購入 利用率



(注) 利用率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別口座比率

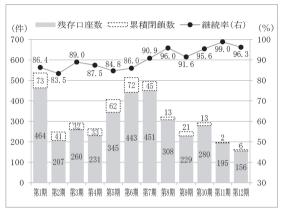
(2020年9月30日現在 総数3,569件)



(注) 比率は、全口座数に対する各年代の口座数の割合で、 小数第2位四捨五入で表示しています。

決算期別口座開設数および継続率

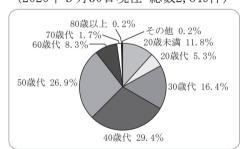
(2020年9月30日現在)



(注)継続率は、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入利用者比率

(2020年9月30日現在 総数2,649件)



(注) 比率は、全利用者数に対する各年代の利用者数の割合で、小数第2位四捨五入で表示しています。

年代別定期定額購入1回当たりの平均引落額(2020年9月30日現在)

| | 年代別引落額平均 | (月次)(単位:円 |]) |
|-------|----------|-----------|---------|
| 20歳未満 | 10, 940 | 50歳代 | 32, 360 |
| 20歳代 | 18, 695 | 60歳代 | 31, 341 |
| 30歳代 | 23, 914 | 70歳代 | 27, 371 |
| 40歳代 | 26, 611 | 80歳以上 | 22,000 |

(注) 1回当たりの平均引落額は、次の式で算出し、円未満切捨てで表示しています。 (当該年代の毎月の契約金額の合計×12+当該年代の増額月の契約金額の合計)÷12÷当該年代の利用者数